

主要農作物の生育・出荷状況

令和6年7月1日
南会津農林事務所農業振興普及部

作物名	生育・出荷状況
作物	<p>【水稻】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・田植えは平年より2日程度遅く行われた（始期：本年5/15（平年5/17）、盛期：本年5/25（平年5/23）、終期：本年6/1、（平年5/30））。 ・気温が高いこともあり、移植後の活着は良好である。地域間差はあるものの、生育は平年並み～やや進んでいる。ヒエやホタルイ等の残草が目立つほ場が散見される。一部のほ場でイネミズゾウムシの発生が見られる。 <p>【大豆】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・播種は6月上旬に行われ、出芽は良好である。
野菜	<p>【トマト】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月19日配布の購入苗は5段開花初めで、出荷開始は7月7日頃となる見込みである。 ・1段目で着果率がやや低くなっている。 ・一部のほ場で、葉かび病、かいよう病、アブラムシ類が少発生している。 <p>【アスパラガス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設栽培の夏芽出荷は6月10日頃より始まっている（6/28現在で日量1,000束程度）。出荷最盛期は7月20日頃となる見込みである。 ・露地栽培は、7月上旬には夏芽出荷が始まる見込みである。 ・病害は、施設栽培では斑点病が一部で発生しており、害虫はアザミウマ類、アブラムシ類がハウス栽培、露地栽培ともに中発生している。特にオオタバコガやヨトウガ等、チョウ目害虫が多発生している。
花き	<p>【リンドウ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区（6月17日時点） 早生品種 草丈 96.2cm（平年比116%）節数21.8（平年比101%） 彼岸品種 草丈 91.5cm（平年比111%）節数20.1（平年比100%） 葉枯病、リンドウホソハマキ、アザミウマの発生が一部のほ場で見られ、特にアザミウマの被害が目立っている。また、葉枯病も増加傾向である。 ・西部地区（6月14日時点） 早生品種 草丈 96.6cm（平年比86%）節数 20.2（平年比93%） 彼岸品種 草丈 96.0cm（平年比122%）節数 22.1（平年比110%） 葉枯病、黒斑病、リンドウホソハマキ、ハダニの発生が一部のほ場で見られる。 <p>【カスミソウ】（6月10日時点）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東部地区 据え置き 例年より1週間ほど早い6月2日より出荷が開始された。 新植（4月中旬定植） 草丈55cm～60cm程度 ハスモンヨトウ、アザミウマの発生が一部のほ場で見られる。 ・西部地区 据え置き 例年並みの5月30日より出荷が開始された。 新植（5月上旬定植） 草丈30cm～40cm程度 目立った病害虫の発生は見られない。
果樹	<p>【リンゴ】</p> <p>「ふじ」（南会津中荒井地区）の果実肥大（6月15日時点）は縦径31.8mm（平</p>

	<p>年比111%)、横径31.1mm (平年比117%) となっている。</p> <p>5月10日の凍霜害の影響でサビ果が散見される。</p> <p>5月10日の凍霜害の被害を受けたブドウでは6月中旬以降ジベレリン処理が実施されており実止まりが良い。被害後、主芽のほとんどが枯死したものの、副芽や不定芽由来の新梢が5月下旬頃から発生している。なお、遅れて発生した新梢にも花穂が着花しており、今後ジベレリン処理が実施され着果量が増加する見込みである。</p>
畜産	<p>【飼料作物】</p> <p>永年性牧草の生育は平年より若干早く、一番草の収穫が5月下旬より行われている。</p>